

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	病院統合・再編事業	部局名	企画部
		課(室)名	政策企画課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成22年度 ～ 平成28年度
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	地方独立行政法人加古川市民病院機構活性化協議会及び活性化委員会設置要綱

【事業概要】

現状と課題	加古川中央市民病院が予定どおり開院し、運営も順調に進捗している。また、西市民病院跡地で回復期病院を運営する民間事業者との契約が成立し、開設に向けて県と調整が進められている。東市民病院跡地は医療機能等の民間参入の可能性が低く、医療以外で公共活用する方針に変更した。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	●地方独立行政法人加古川市民病院機構の運営の活性化を図るとともに、加古川中央市民病院の整備を円滑に進める。●加古川中央市民病院が円滑に開院できるよう市民等への周知を図る。●西市民病院跡地への回復期病院の誘致や東市民病院跡地の民間活用の可能性を確認し、市民ニーズに応じた跡地活用を図る。
対象 ※誰、何に対して	●地方独立行政法人加古川市民病院機構 ●加古川市民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	●地方独立行政法人加古川市民病院機構活性化協議会及び活性化委員会の開催 ●加古川中央市民病院への交通アクセス案内チラシの配布 ●西市民病院跡地活用事業者の募集及び東市民病院跡地の民間活用に関する実現可能性調査の実施

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	48,473 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	48,473 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	02 総務費
項	01 総務管理費
目	07 企画費
細目	045 病院跡地活用事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	48,473 千円	14,095 千円	6,732 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
	地方独立行政法人化、加古川中央市民病院の開院、市民ニーズに対応した病院跡地の民間活用についての可能性調査など、病院の統合・再編に関する一連の事業は終了。今後は通常の病院事業として、地方独立行政法人としての病院運営の独立性に配慮するとともに、市民病院機構とも連携を図りながら、評価委員会による評価や運営費負担金等の財源調整を通じて地域医療の充実に向けた取組を推進していく。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	病院統合・再編事業	部局名	企画部
		課(室)名	政策企画課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
地方独立行政法人加古川市民病院機構	団体	1	1	1
加古川市人口(4/1付推計人口)	人	265,524	266,100	267,148

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活性化協議会開催回数	回	0	1	0
活性化委員会開催回数	回	0	1	0
啓発資料配布回数	回	2		
活動指標分析結果	予定どおり平成28年7月に加古川中央市民病院が開院し、その後の病院運営も順調に進捗したため、活性化協議会及び活性化委員会は開催しなかった。また、啓発については、新病院への交通アクセスをお知らせする案内チラシを配布した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
新統合病院建設整備率(各年度)	%	100	100	100	平成28年度	100
啓発資料配付枚数	枚	137,000			平成28年度	100,000
成果指標分析結果	加古川中央市民病院建設整備についてはスケジュールどおり進捗し、平成28年7月に開院することができた。また、新病院開院前に、病院への交通アクセス(来院駐車場の追加を含む)について、市民や周辺自治体の住民への全戸配布等を行うなど、幅広く周知を図った。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	救急医療事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	昭和39年度 ～ 永年
事業区分	④義務的施策事業
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	休日の一次救急については、継続して体制支援を行っており、電話相談事業については、利用率の伸び悩みがあり、停滞状況に陥っている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	通常診療等の休診中に容態が悪くなった患者の初期対応を行うことで、重症化の防止及び生命の維持に繋げる。
対象 ※誰、何に対して	休日及び夜間帯に容態が悪くなり、救急処置の必要がある住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	休日の一次救急を実施するため、加古川医師会及び各医療機関等の協力のもと、輪番制等による体制を支援する。また、小児を対象とする夜間帯の電話相談を実施する。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	18,282 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	162 千円
	一般財源	18,120 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	015 救急医療事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	18,282 千円	26,322 千円	26,224 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	救急医療事業は生命を守る重要な事業であり、現行の水準を維持しながら、事業を継続していくべきであると考えているが、一次救急の定点化や電話相談事業の利用率向上など、より事業が充実するよう、手段等を検討する必要がある。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	救急医療事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
活動指標 分析結果				

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
成果指標 分析結果						

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	(公財) 東播臨海救急医療協会 補助事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	昭和55年度 ~ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	平成18年度から指定管理者制度を導入し、東播臨海救急医療協会を指定管理者とし、運営を委託している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川夜間急病センターの健全な運営を支援し、夜間帯における救急医療体制の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川夜間急病センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の夜間帯における一次救急及び二次救急を円滑に行うため、加古川夜間急病センターの管理及び運営に要する職員人件費を補助する。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	172,268 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	172,268 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	12 夜間急病医療事業特別会計
款	01 夜間急病医療事業費
項	01 夜間急病医療事業費
目	01 夜間急病医療事業費
細目	015 (公財) 東播臨海救急医療協会補助事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	172,268 千円	171,304 千円	169,028 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	夜間帯における救急医療体制の充実は、必要不可欠なものであり、加古川夜間急病センターを管理、運営する上で必要となる職員人件費を補助することは、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	(公財) 東播臨海救急医療協会 補助事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町の人口 (10/1付住民基本台帳人口)	人	427,921	429,432	431,152

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
東播臨海救急医療協会補助費	千円	172,268	171,304	169,028
活動指標分析結果	人件費の自然増等により増加傾向にある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
夜間急病センター診療日数	日	365	366	365	平成32年度	365
成果指標分析結果	一年を通じて夜間急病センターの診療を実施できたことで夜間帯における救急医療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター管理運営事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成7年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川歯科保健センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	設立から20年が経過しており、施設や備品の老朽化による修繕が増加傾向にある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川歯科保健センターの健全な運営を支援し、口腔衛生の向上と、休日及び障がい者診療の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川歯科保健センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	休日及び障がい者診療を円滑に行うため、加古川歯科保健協会に対し、加古川歯科保健センターの管理及び運営に対する業務委託を行う。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	76,411千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	76,411千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	13 歯科保健センター事業特別会計
款	01 歯科保健センター事業費
項	01 歯科保健センター事業費
目	01 歯科保健センター事業費
細目	010 歯科保健センター事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	76,411千円	87,181千円	76,068千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	休日における救急医療体制や障がい者診療の支援は、必要不可欠なものであり、加古川歯科保健センターを管理、運営することは、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター管理運営事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町の人口 (10/1付住民基本台帳人口)	人	427,921	429,432	431,152

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
歯科保健センター管理運営費	千円	76,411	87,181	76,068
活動指標分析結果	平成27年度は退職金による増額があったが、平成28年度は例年並みの運営費を支出した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
歯科保健センター休日診療日数	日	73	74	74	平成32年度	73
歯科保健センター障がい者診療日数	日	116	117	119	平成32年度	116
成果指標分析結果	休日診療、障がい者診療共に一年を通じて計画どおり実施できたことで地域における歯科診療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター事業特別会計 繰出事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成7年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	繰出金に変動はあるものの、継続した支援を行っている。
目的 ※対象(誰・何)を どのような状態 にしたいのか	加古川歯科保健センターの健全な運営を支援し、口腔衛生の向上と、休日及び障がい者診療の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川歯科保健センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のため の手段・手法	口腔衛生の向上と、休日及び障がい者診療の充実を図るために設立した加古川歯科保健センターの健全な運営に資するための加古川市負担分を特別会計に繰り出す。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	25,288 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	25,288 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	25,288 千円	27,739 千円	31,538 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性 ・効率性の視点 をもとに総合的 に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	休日における救急医療体制や障がい者診療の支援は、必要不可欠なものであり、その財政基盤である歯科保健センター事業特別会計に負担し、安定した運営を維持することは、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター事業特別会計 繰出事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
歯科保健センター事業特別会計歳出	千円	82,712	99,409	82,789

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
歯科保健センター事業特別会計繰出金	千円	25,288	27,739	31,538
活動指標分析結果	歯科保健センターの安定的な運営に寄与するために必要な繰出金を支出した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
歯科保健センター休日診療日数	日	73	74	74	平成32年度	73
歯科保健センター障がい者診療日数	日	116	117	119	平成32年度	120
成果指標分析結果	休日診療、障がい者診療共に一年を通じて計画どおり実施できたことで地域における歯科診療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	地方独立行政法人運営費負担金 支出事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成23年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	地方独立行政法人法第85条、地方公営企業繰出基準等

【事業概要】

現状と課題	第2期中期計画(平成28年度～32年度)のもと運営費負担金を支出していく予定だが、今後、国の診療報酬改定による影響や、市民病院機構が地域医療を充実させるため実施する事業に対しても、柔軟に対応していく必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	公的病院として救急医療や高度医療を安定的に提供する。
対象 ※誰、何に対して	地方独立行政法人加古川市民病院機構
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	地方公営企業繰出基準に基づき、施設整備や救急医療等に係る不採算経費について運営費負担金を支出する。また、東西市民病院の財産の返還に伴う法人の財産的基礎を確保するため、追加出資を行う。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	2,848,008 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	750,000 千円
	その他特財	千円
	一般財源	2,098,008 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	005 地方独立行政法人運営費負担金支出事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	2,848,008 千円	1,153,333 千円	1,122,276 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	<p>平成28年7月に開院した加古川中央市民病院は、公的病院として救急医療や高度医療等を安定的に提供できる体制が必要であることから、法人の経営健全化を図るための不採算経費等に対する運営費負担金の支出は必要である。効率的・効果的に運営できる地方独立行政法人のメリットを最大限に活かし、自立経営が図られることで運営費負担金支出額の圧縮は可能と考えられるが、移転に伴う新病院の影響が落ち着き病院運営が安定するまでは、同水準を維持していくことが必要である。なお、出資金は、しばらくは不要と考える。</p>

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	地方独立行政法人運営費負担金 支出事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
地方独立行政法人加古川市民病院機構	団体	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
運営費負担金支出率	%	100	100	100
出資金額	千円	1,000,000	0	0
運営費負担金支出額	千円	1,848,008	1,153,333	1,122,276
活動指標分析結果	法人の経営健全化を図り、公的病院として安定した医療を提供するため、法人に対し確実に支出した。なお、出資金については、東西市民病院の財産の返還に伴い法人の財産的基礎を確保する必要があったため、出資を行った。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
市民病院開院日数（2次救急医療施設）	日	365	366	365	平成28年度	365
入院受入体制確保日数（高度医療）	日	365	366	365	平成28年度	365
医師数	人	190	170	147	平成28年度	168
成果指標分析結果	不採算経費等に対する運営費負担金と財務基盤確保のための出資金の支出により、法人の経営健全化が図られ、救急医療及び高度医療を安定的に提供できる体制が確保できている。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	地方独立行政法人評価委員会運営事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成22年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川市民病院機構評価委員会条例、地方独立行政法人法第11条

【事業概要】

現状と課題	病院事業については、市が設立した法人に事業を担わせることで、より効果的・効率的なサービスの提供を目指している。市は、法人への事前の関与や統制が制限されていることから、評価委員会を通して、中期目標等の達成や透明性の高い法人運営を確保する必要がある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	地方独立行政法人法等で定められている地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会の所掌事務(業務実績評価など)について、委員会での審議を活性化させ、様々な視点から適正に決定を行う。
対象 ※誰、何に対して	地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	地方独立行政法人法第11条に基づき市長の附属機関として設置された評価委員会の運営について、事務局として補助する。委員がより適正に客観的な決定(評価)が行えるよう、審議する議案について十分な説明を行う。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	634千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	634千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	006 地方独立行政法人評価委員会運営事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	634千円	719千円	755千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	法定のため事業実施は必須であり、また、委員会開催の前に個々の委員へ事前に資料の説明を行うことは、委員会での審議を活発にするうえで有効と考えられる。平成28年度に評価要領等の見直しを行ったことから、しばらくは様子をみるべきと考える。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	地方独立行政法人評価委員会運営事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会委員	人	5	5	5

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
評価委員会委員への説明実施回数	回	20	24	33
評価委員会開催回数	回	4	6	5
活動指標分析結果	委員会の開催回数が計画時よりも少なかったため、委員への説明回数合計は目標値を下回ったが、今回も全委員へ事前説明は行っている。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
年度評価に対する評価委員会意見数	件	72	72	115	平成28年度	60
年度評価に対する評価委員会開催回数	回	3	4	6	平成28年度	3
成果指標分析結果	平成28年度は、法人の業務実績に対して、事前に委員へ書面での意見を求めつつ審議を行ったので、多くの意見を引き出すことができた。一方、委員会開催回数の目標回数不達は、暫定評価の実施方法をより効率的な方法へと見直した結果であり、審議内容としては従前の方法と変わらない成果をあげることができたと考える。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	二次救急医療事業（一般会計）	部局名	福祉部
		課（室）名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	昭和39年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	当番病院の交代はあるものの365日体制の運営を維持している。
目的 ※対象（誰・何）をどのような状態にしたいのか	容態が悪くなった患者の二次（後送）救急医療体制を確保することで、重症化の防止及び生命の維持に繋げる。
対象 ※誰、何に対して	二次（後送）救急措置の必要がある住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の二次（後送）救急を円滑に行うため、関係医療機関に対し、二次救急医療の管理・運営に対する支援を行う。

【コスト】

	平成28年度（決算見込）	
事業費合計	33,712 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	10,942 千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	22,770 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	015 救急医療事業

【コスト推移】

	平成28年度（決算見込）	平成27年度（決算）	平成26年度（決算）
事業費合計	33,712 千円	千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	二次救急医療体制の維持は、必要不可欠なものであり、支援を行うことは、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	二次救急医療事業（一般会計）	部局名	福祉部
		課（室）名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
加古川市人口（10／1付住民基本台帳人口）	人	268,643		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
内科及び外科の休日昼間二次救急当番医療機関数	機関	12		
小児科二次救急当番医療機関数	機関	5		
活動指標分析結果	平成28年7月に東市民病院、西市民病院が合併し中央市民病院になったことで両指標の当番医療機関数は増加した。加えて小児二次救急について東西市民病院合併時の診療制限期間（4日間）は明石市民病院及び明石医療センターに待機を依頼した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
内科及び外科の休日昼間二次救急診療待機日数	日	72			平成32年度	72
小児科二次救急診療待機日数	日	365			平成32年度	365
成果指標分析結果	東西市民病院合併時の診療制限期間においても東播磨圏域の医療機関に待機依頼をすることで1年を通して二次（後送）救急医療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	二次救急医療事業（夜間急病医療事業特別会計）	部局名	福祉部
		課（室）名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	昭和55年度 ～ 永年
事業区分	⑤市施策事業（経常）
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	当番病院の交代はあるものの365日の輪番制を維持している。
目的 ※対象（誰・何）をどのような状態にしたいのか	夜間帯における救急医療体制の充実により、住民の重症化の防止及び生命の維持を図る。
対象 ※誰、何に対して	2市2町（加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町）の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の夜間帯における二次救急の診療体制を確保するため、二次救急医療の管理・運営に対する費用の一部を負担する。

【コスト】

	平成28年度（決算見込）	
事業費合計	75,423 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	75,423 千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	12 夜間急病医療事業特別会計
款	01 夜間急病医療事業費
項	01 夜間急病医療事業費
目	01 夜間急病医療事業費
細目	010 夜間急病医療事業

【コスト推移】

	平成28年度（決算見込）	平成27年度（決算）	平成26年度（決算）
事業費合計	75,423 千円	千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	夜間帯における二次救急医療体制の充実は、必要不可欠なものであり、二次救急医療の管理、運営を支援することは、行政が行う事業として妥当なものと考えられる。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	二次救急医療事業（夜間急病医療事業特別会計）	部局名	福祉部
		課（室）名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
夜間急病医療事業特別会計歳出	千円	282,566		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
内科及び外科の夜間二次救急当番医療機関数	機関	12		
活動指標分析結果	平成28年7月に東市民病院、西市民病院が合併し中央市民病院になったことで当番医療機関数は12機関としたが7月以降は10機関で当番を実施した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
内科及び外科の夜間二次救急診療待機日数	日	365			平成32年度	365
成果指標分析結果	1年を通して待機医療機関による輪番制を維持したことで二次（後送）救急医療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病センター管理運営事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	昭和55年度 ~ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川夜間急病センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	平成18年度から指定管理者制度を導入し、東播臨海救急医療協会を指定管理者とし、運営を委託している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川夜間急病センターの健全な運営を支援し、夜間帯における救急医療体制の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川夜間急病センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の夜間帯における一次救急を円滑に行うため、東播臨海救急医療協会に対し、加古川夜間急病センターの管理及び運営に対する業務委託を行う。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	34,011千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	34,011千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	12 夜間急病医療事業特別会計
款	01 夜間急病医療事業費
項	01 夜間急病医療事業費
目	01 夜間急病医療事業費
細目	010 夜間急病医療事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	34,011千円	108,270千円	115,260千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	夜間帯における救急医療体制の充実は、必要不可欠なものであり、加古川夜間急病センターを管理、運営することは、行政が行う事業として妥当なものと考えられる。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病センター管理運営事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町の人口 (10/1付住民基本台帳人口)	人	427,921	429,432	431,152

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
夜間急病センター管理運営費	千円	34,011	108,270	115,260
活動指標分析結果	年度によって医薬材料費等の消耗が異なるため、年度間での変動が大きい。また、平成27年度以前は夜間二次救急診療業務も事業に含めていたため金額が大きい。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
夜間急病センター診療日数	日	365	366	365	平成32年度	365
成果指標分析結果	一年を通じて夜間急病センターの診療を実施できたことで夜間帯における救急医療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病医療事業特別会計繰出事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	昭和55年度 ~ 永年
事業区分	⑤市施策事業(経常)
地区別	その他
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	繰出金に変動はあるものの、継続した支援を行っている。しかし、特別会計の繰越金年度末残高は逓減している。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川夜間急病センターの健全な運営を支援し、夜間帯における救急医療体制の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川夜間急病センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	夜間帯における救急医療体制の充実を図るために設立した加古川夜間急病センターの健全な運営に資するための加古川市負担分を特別会計に繰り出す。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	77,910 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	77,910 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	04 衛生費
項	01 保健衛生費
目	01 衛生総務費
細目	025 保健衛生事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	77,910 千円	75,994 千円	68,639 千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	夜間帯における救急医療体制の充実は、必要不可欠なものであり、その財政基盤である夜間急病医療事業特別会計に負担し、安定した運営を維持することは、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病医療事業特別会計繰出 事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
夜間急病医療事業特別 会計歳出	千円	282,566	279,747	284,417

【事業実績】

活動指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
夜間急病医療事業特別 会計繰出金	千円	77,910	75,994	68,639
活動指標 分析結果	繰越金を財源とした決算が数年続いているため、単年度の収支バランスを保つため増額している。			

【事業成果】

成果指標名	単位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目標値
夜間急病センター診療 日数	日	365	366	365	平成32 年度	365
成果指標 分析結果	一年を通じて夜間急病センターの診療を実施できたことで夜間帯における救急医療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター施設整備事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成7年度 ～ 永年
事業区分	⑦投資事業
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川歯科保健センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	設立から20年が経過しており、施設や診療チェア等の高額な備品の老朽化による修繕が増加傾向にある。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川歯科保健センターの健全な運営を支援し、口腔衛生の向上と、休日及び障がい者診療の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川歯科保健センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	休日及び障がい者診療を円滑に行うため、加古川歯科保健センターの施設、設備及び診療機器の整備を行う。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	17千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	17千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	13 歯科保健センター事業特別会計
款	01 歯科保健センター事業費
項	01 歯科保健センター事業費
目	01 歯科保健センター事業費
細目	005 歯科保健センター施設整備事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	17千円	5,945千円	438千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	休日における救急医療体制や障がい者診療の支援は、必要不可欠なものであり、加古川歯科保健センターの設備や診療機器等の整備を行い、安心かつ安全な診療環境を整えることは、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	歯科保健センター施設整備事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
施設数	施設	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
歯科保健センター施設整備費	千円	17	48	438
活動指標分析結果	診療機器の更新については、整備計画に基づき順次行っているため、年度間での変動が大きい傾向にある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
歯科保健センター休日診療日数	日	73	74	74	平成32年度	73
歯科保健センター障がい者診療日数	日	116	117	119	平成32年度	116
成果指標分析結果	休日診療、障がい者診療共に一年を通じて計画どおり実施できたことで地域における歯科診療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病センター施設整備事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	昭和55年度 ～ 永年
事業区分	⑦投資事業
地区別	その他
関連根拠法令等	加古川夜間急病センターの設置及び管理に関する条例

【事業概要】

現状と課題	設立から40年近くが経過しており、施設や備品の老朽化が著しく、頻繁な修繕等が必要となっている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川夜間急病センターの健全な運営を支援し、夜間帯における救急医療体制の充実を図る。
対象 ※誰、何に対して	加古川夜間急病センターを利用する2市2町(加古川市、高砂市、稲美町及び播磨町)の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	東播臨海地区の夜間帯における一次救急を円滑に行うため、加古川夜間急病センターの施設、設備及び診療機器の整備を行う。

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	864千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	864千円
	一般財源	千円

【会計】

会計	12 夜間急病医療事業特別会計
款	01 夜間急病医療事業費
項	01 夜間急病医療事業費
目	01 夜間急病医療事業費
細目	005 夜間急病センター施設整備事業

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	864千円	173千円	130千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 完了
	夜間帯における救急医療体制の充実は、必要不可欠なものであり、加古川夜間急病センターの設備や診療機器等の整備を行い、安心かつ安全な診療環境を整えることは、行政が行う事業として妥当なものとする。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	夜間急病センター施設整備事業	部局名	福祉部
		課(室)名	健康課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
施設数	施設	1	1	1

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
夜間急病センター施設整備費	千円	864	173	130
活動指標分析結果	医療機器の入れ替え等により、年度間での変動が大きい傾向にある。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
夜間急病センター診療日数	日	365	366	365	平成32年度	365
成果指標分析結果	一年を通じて夜間急病センターの診療を実施できたことで夜間帯における救急医療体制を確保できた。					

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	新市民病院交通アクセス充実事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	交通政策課

【基本情報】

基本目標	01 安心して暮らせるまちをめざして
政策	02 健康づくりや地域医療を充実する
施策	02 地域医療を充実する
事業実施期間	平成28年度 ～ 平成28年度
事業区分	⑥市施策事業(臨時)
地区別	市内全域
関連根拠法令等	

【事業概要】

現状と課題	かこバス東加古川ルートを増便することで対応できている。
目的 ※対象(誰・何)をどのような状態にしたいのか	加古川東市民病院跡地から加古川中央市民病院への交通アクセスの充実
対象 ※誰、何に対して	加古川東市民病院跡地周辺の住民
事業内容 ※目的達成のための手段・手法	かこバス東加古川ルートを増便

【コスト】

	平成28年度(決算見込)	
事業費合計	4,707 千円	
財源内訳	国庫支出金	千円
	県支出金	千円
	地方債	千円
	その他特財	千円
	一般財源	4,707 千円

【会計】

会計	01 一般会計
款	08 土木費
項	05 都市計画費
目	01 都市計画総務費
細目	065 総合交通政策事業(政策企画課)

【コスト推移】

	平成28年度(決算見込)	平成27年度(決算)	平成26年度(決算)
事業費合計	4,707 千円	千円	千円

【総合評価】

総合評価 ※妥当性・有効性・効率性の視点をもとに総合的に判断した評価	<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 完了
	同事業は、平成29年度より公共交通補助事業に統合。

加古川市事務事業評価シート〈平成28年度実施事業〉

事務事業名	新市民病院交通アクセス充実事業	部局名	都市計画部
		課(室)名	交通政策課

※政策的でない一般的事務経費、施設の維持補修経費または義務的施策事業の一部については、以下の項目は空白です。

【対象】

対象指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
かこバス（東加古川ルート）沿線住民	人	20,001		

【事業実績】

活動指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度
かこバス（東加古川ルート）の便数	便	64		
かこバス（東加古川ルート）の運行回数	回	19,278		
活動指標分析結果	1日の便数を14便増やした結果、年間の運行回数が平成27年度と比較して約2,500回増加した。			

【事業成果】

成果指標名	単 位	平成28年度	平成27年度	平成26年度	目標年度	目 標 値
かこバス（東加古川ルート）利用者数	人	270,674			平成28年度	270,000
成果指標分析結果	年間の利用者数が平成27年度と比較して約20,000人増加していることから、交通アクセスの充実が図れたと考えられる。					